

# TOTO

## 化粧鏡

一面鏡 LMHA060~120G1型

三面鏡 LMHA075~120G3MW型  
LMHA075~120G3ML型

サイドキャビネット LYHA025~045MG L/R型  
LYHA025~045NG型

商品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

### 1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。

使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	○ は、してはいけない「禁止」内容です。		● は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	----------------------	--	-------------------------

**警告**

- **浴室など湿気の多い場所へ設置しない**  
漏電により感電するおそれがあります。
- **電源コードを傷つけない**  
漏電および火災の原因になります。
- **コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない**  
化粧鏡が落下する原因になります。また、トラッキングによる火災の原因になります。

**禁止**

**警告**

- **使用地域の周波数に合わせる**  
60Hz用器具を50Hz地区で使用すると火災の原因となります。
- **電源はAC100Vを使用する**  
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。
- **鏡固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する**  
化粧鏡が落下し、けがをするおそれがあります。

**必ず実行**

13mm以下  
木さん

- **水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う**  
火災や感電および水漏れの原因になります。
- **電源コードを傷つけないようにコード取出用切欠部より取り出す**  
電源コードを傷つけたり、壁との間に挟み込むと発熱や発火の原因になります。電源コードを壁との間に挟み込むと商品にゆがみが発生し、扉のゆがみなど、商品に悪影響を及ぼす原因になります。
- **取り付け完了後、全てのねじが確実に固定されていることを確認する**  
商品が落下しけがをするおそれがあります。

**注意**

- **取り付け完了後、化粧鏡の固定・鏡屏の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する**  
使用中に化粧鏡・鏡屏が落下してけがをするおそれがあります。
- **LED照明は確実に取り付ける**  
落下してけがをするおそれがあります。

**必ず実行**

### 2) 設置寸法

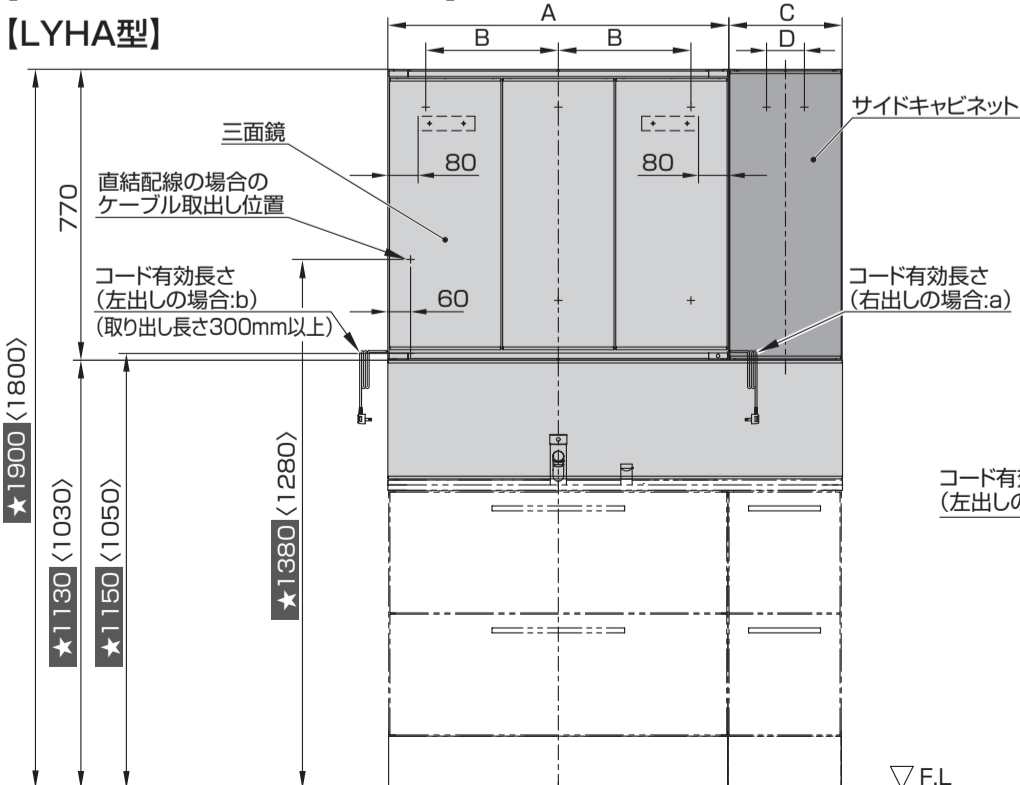
- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- < > 寸法は高さ1800mmの場合です。
- 電源コードは、上部からの取り出しもできます。
- 高さ1800mmの場合、バックパネルは設置できません。

**三面鏡** 取り付け手順は **7** へ

A(間口サイズ)	B	a	b	c	d	e
750	275	2500-A	2400	2500	2650-A	100
800	300					130
850	325					130
900	350					130
950	375	2500-A	2400	2500	2650-A	160
1000	400					160
1050	425					160
1100	450					160
1150	475	2500-A	2400	2500	2650-A	160
1200	500					160

[LMHA075~120G3MW型]

[LYHA型]

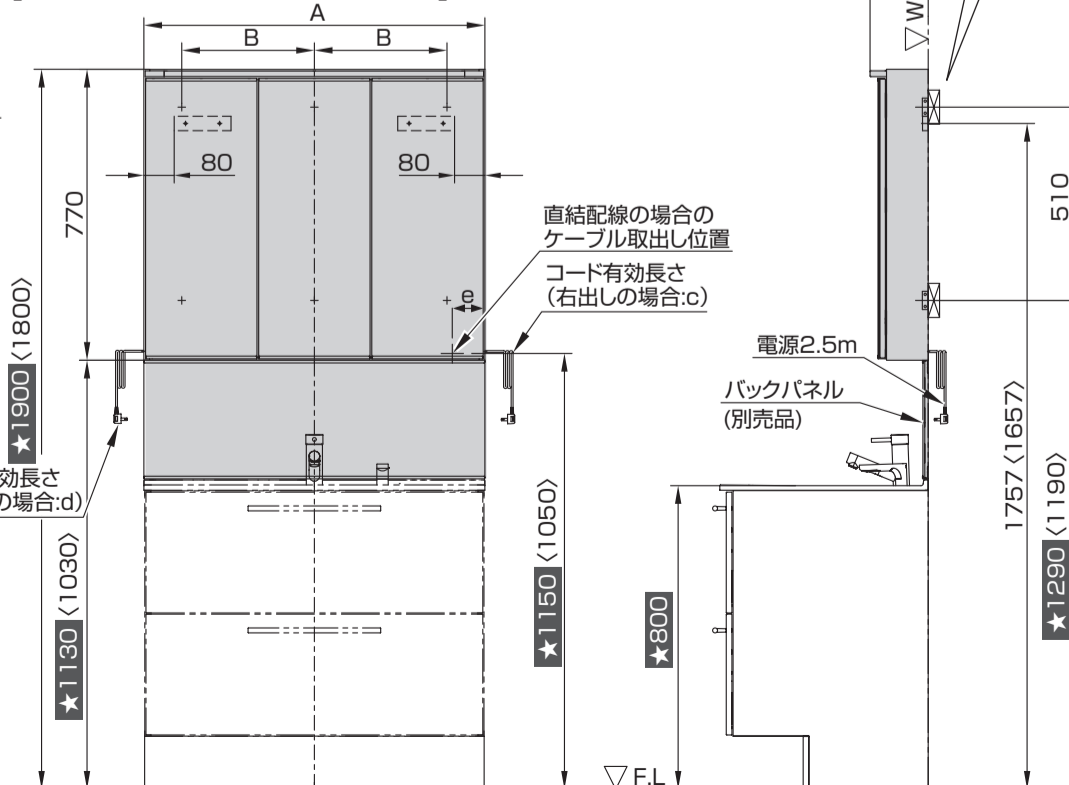


**サイドキャビネット** 取り付け手順は **8** へ

C(間口サイズ)	D
250	100
300	100
450	250

★印の寸法は、カウンター高さ800の場合です。(750の場合は★印の寸法に-50してください。)

[LMHA075~120G3ML型]



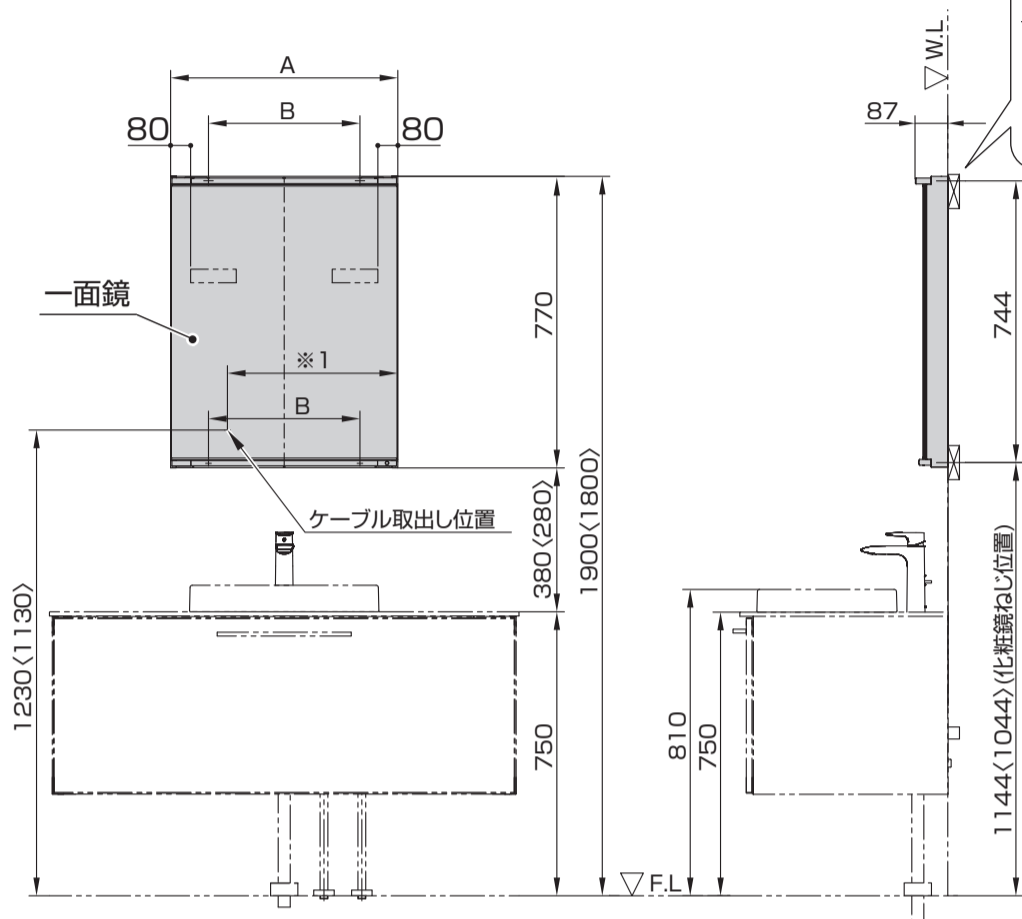
## 2) 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 〈 〉寸法は高さ1800mmの場合です。

### 一面鏡 取り付け手順は 9へ

- ※本図はLMHA060G1型を示します。
- ※一面鏡は直結配線となります。

A (間口サイズ)	B
600	400
750	350
900	500
1000	600
1200	800



※1:全間口共通で商品右端から450mm

## 3) 付属部品明細

### 三面鏡

名称	数量
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	6本
化粧キャップ	8個
施工補助板用皿タッピンねじ (φ4.5×50)	4本
施工補助板	2枚
連結用ねじ (φ3.9×28)	2本

### サイドキャビネット

名称	数量
壁固定用ねじ (φ5.2×55)	4本
化粧キャップ	6個
連結用ねじ (φ3.9×28)	2本

### 一面鏡

名称	数量
壁固定用ねじ (φ4.5×50)	4本
施工補助板用ねじ※2 (φ4.5×50)	4本
施工補助板	2枚

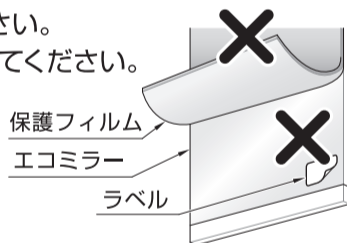
※2:一面鏡の壁固定用ねじと施工補助板用ねじは同じねじになります。

### エンドスペーサー

名称	数量
エンドスペーサー大	1本
エンドスペーサー小	1本
丸木ねじ (φ3.5×13)	5本
エンドスペーサー(バックパネル用)	1本

## 4) 設置上のご注意

- 鏡の取り出し、取り付けなどは必ず2人で作業してください。
- 鏡を置く場合は、床に必ず緩衝材(ダンボール等)を敷いてください。
- ご使用前に傷が付くおそれがあるため、エコミラーの保護フィルムとラベルは、はがさないでください。(LMHA\*\*\*\*\*C型)
- 本体裏面に敷板(ダンボール)がある場合、必ず敷板(ダンボール)を取り外してください。



## 5) 取り付け条件

- 化粧鏡を取り付ける設置壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- 三方壁に設置する場合は、商品間口に対して5mm以上のクリアランスを確保してください。更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。

### 警告

- 化粧鏡は必ず壁に設する(窓の前などに設置できません。)
- 化粧鏡の壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れる
- 木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付ける(建築工事)

- コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込む
  - プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備する
- ※プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。

商品が落下し、けがをするおそれがあります。

## 電気工事

### 【化粧鏡を直結配線にする場合】

- あらかじめ電気工事業者様をお願いして右図のように電源ケーブルを取り出しておいてください。

※取り出し位置は設置寸法を参照してください。



### 警告

- 電源コードを切断して、電源ケーブル(VVF)と直接つながらない
- 発火・火災の原因になります。

- 配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う
- 正しい作業を行わないと、ショート・感電・火災の原因になります。

## 6) 取り付け前確認 (重要)

..... 取り付け前にお読みください .....

### 重要①

#### 電源コードに注意する

裏面で電源コードがたるまないようにしてください。

### 重要②

取り付け壁面がゆがんでいる場合は、鏡がゆがまないように、木ねじのねじ込み代を調節しながらねじ込んでください。

壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面にライナー(現場調達)を入れてください。

### 重要③

#### コンセントは

プラグ差し込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますので、電源コードの黒いラインが入っている側をコンセントのアース側(長穴側)に接続してください。



### 重要④

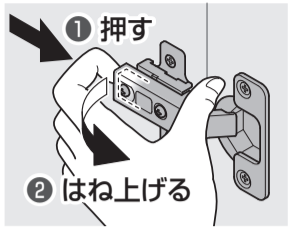
サイドキャビネットを先に取り付ける場合は、「8.サイドキャビネットの取り付け」へ

## 7) 三面鏡取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

### 7-1 取り付け前の作業

#### 7-1-1 鏡扉の取り外し

【鏡扉の取り外しかた】



#### 鏡扉

取り外してください。  
※鏡扉は必ず取り外す。  
※取り外した鏡扉は、傷が付かないよう、ダンボールなどで養生する。

### 電源コードを取り出す場合

#### 7-1-2 電源コード用切り欠き加工

【電源コード用切り欠き】

化粧板側から突き破る



#### 電源コード取り出し部

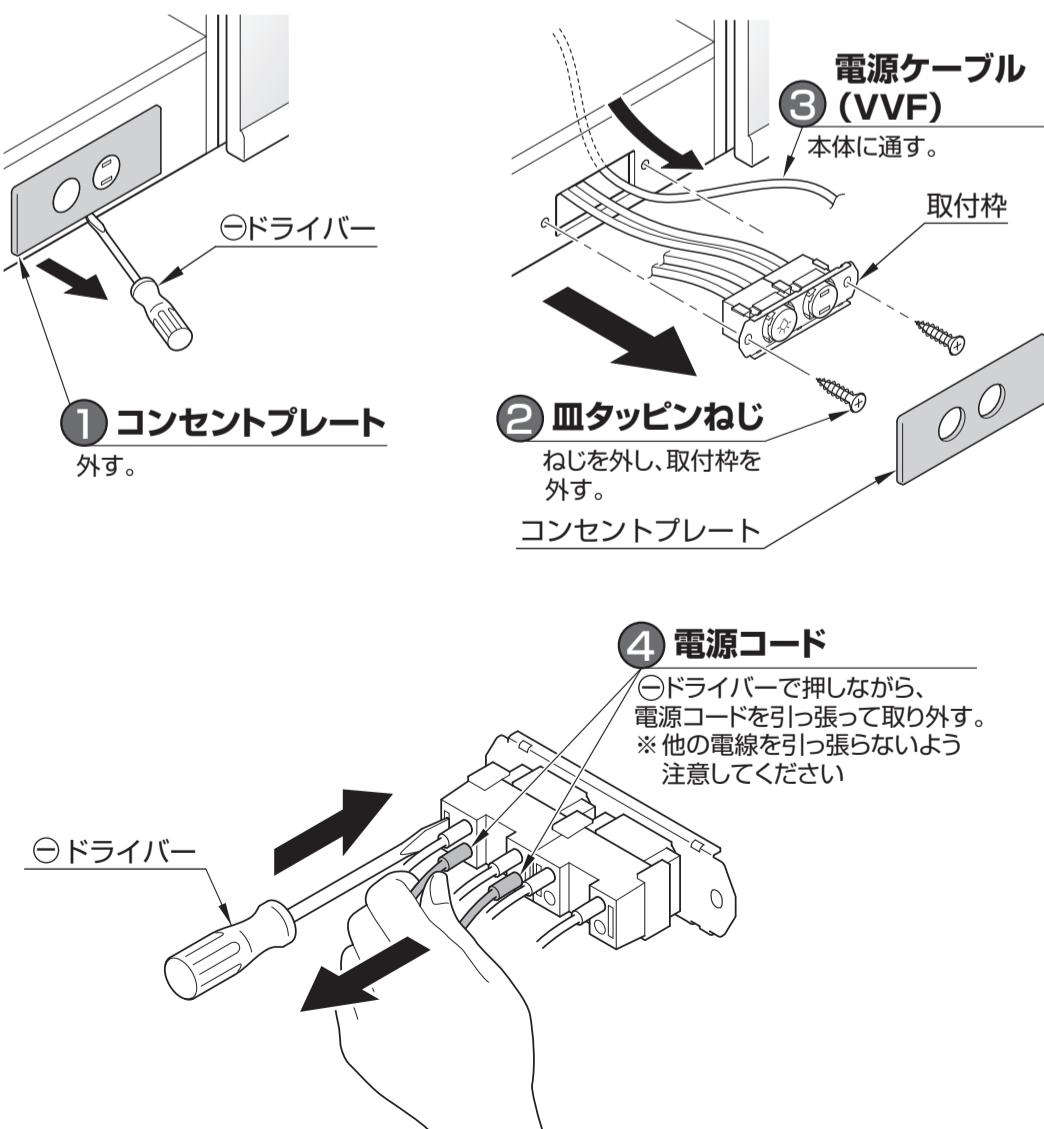
電源コード取り出し側に合わせて側板を⊖ドライバーで化粧板側から突き破る。  
※必ず化粧板側(外側)から突く。  
内側から突くと化粧板が欠ける。

### 直結配線の場合

#### 7-1-4 コンセント部の取り外し

※必ず「有資格者」が行ってください。

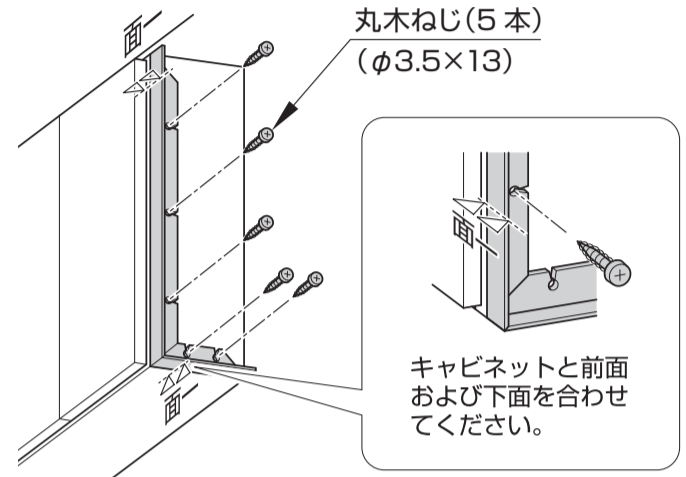
〈LMHA075 ~ 120G3ML型:木製三面鏡(LED照明)〉



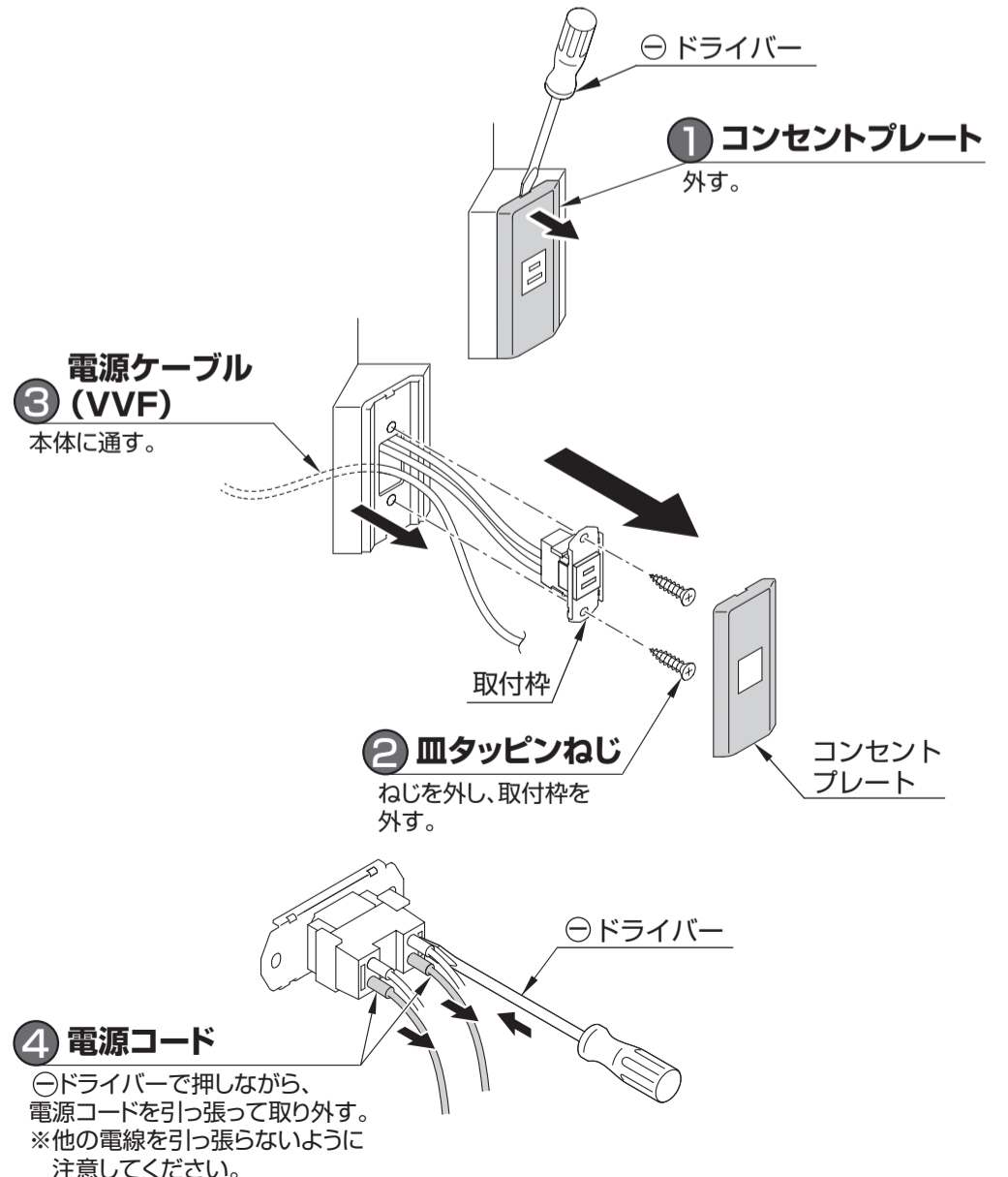
### エンドスペーサーを取り付けるプランの場合

#### 7-1-3 エンドスペーサー固定ねじの取り付け

- 設置レイアウトからエンドスペーサーの設置位置を確認する。
- キャビネット裏板にエンドスペーサーを合わせ、固定ねじ取り付け位置をけがく。
- けがき位置に下穴(φ2.5×深さ5)をあける。※下穴を貫通させないこと。
- エンドスペーサーを下穴に合わせ、固定ねじ(φ3.5×13)を取り付ける。その際、エンドスペーサーの着脱ができるようねじ高さを調節してください。
- 一旦、エンドスペーサーを取り外す。



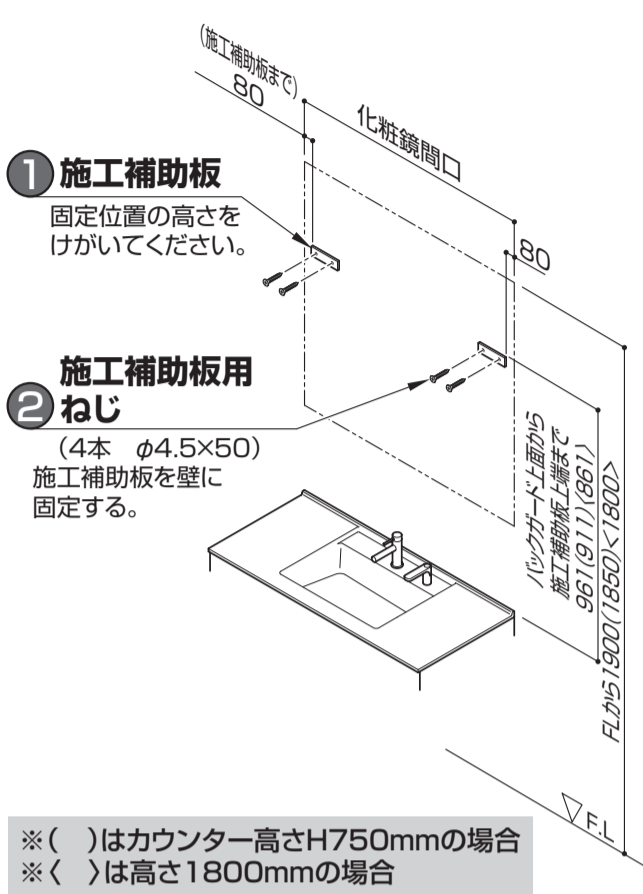
〈LMHA075 ~ 120G3MW型:木製三面鏡(上下LED・調色機能付き)〉



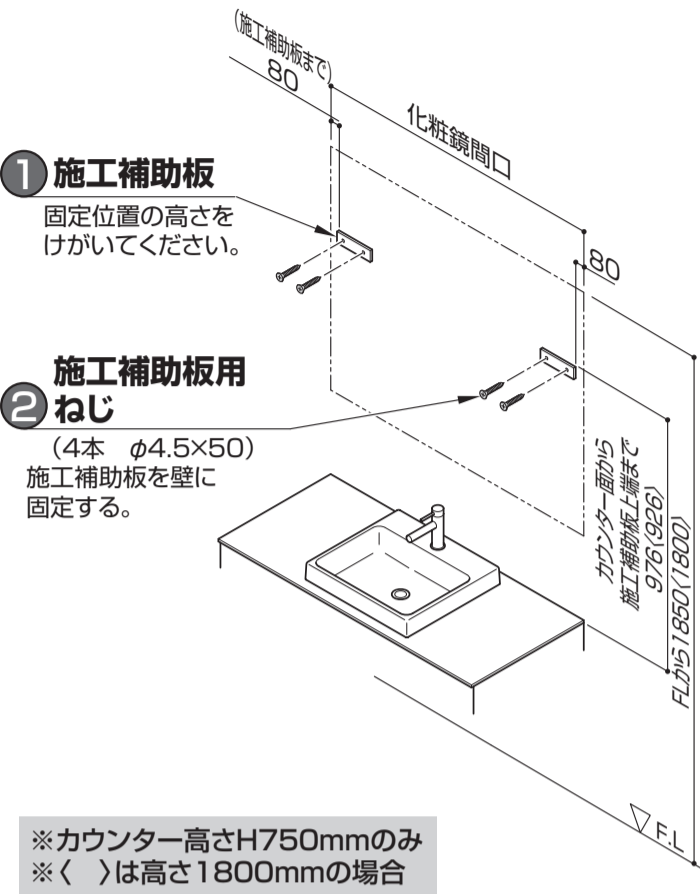
## 7-2 三面鏡用施工補助板の取り付け

※施工補助板はバックパネルを設置しないときに取り付けます。バックパネル設置の場合は、その上に積み上げて鏡を設置してください。  
 ※施工補助板は水平に取り付けられていることをご確認ください。

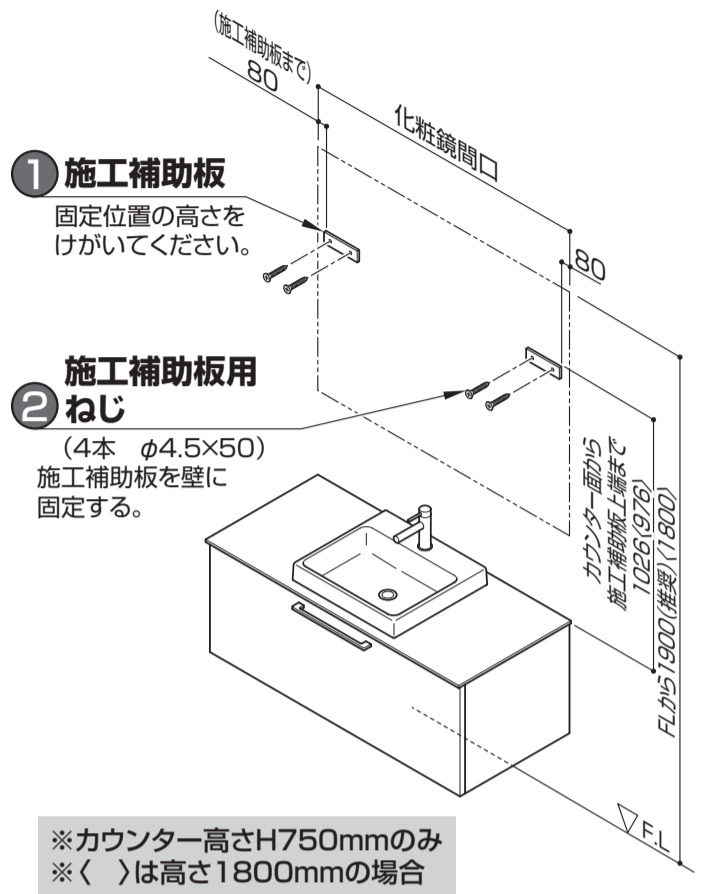
### 【人工大理石製ボウル】



### 【陶器製洗面ボウル(ベッセル式)】 ※フローティングプラン以外



### 【陶器製洗面ボウル(ベッセル式)】 ※フローティングプラン



## 7-3 化粧鏡の壁固定

### 3 壁固定用ねじ

(6本 φ5.2×55)  
※取り付け壁面がゆがんでいる場合は、鏡がゆがまないように、壁固定用ねじのねじ込み代を調整しながらねじ込む。壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面にライナー(現場調達)などを入れる。

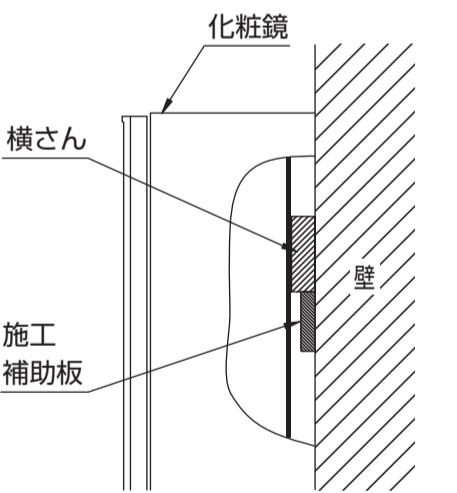
### 4 化粧キャップ

(6個) 取り付ける。

### 1 化粧鏡をのせる

【バックパネル】  
バックパネルの上に化粧鏡をのせる  
【施工補助板】  
バックパネルが無い場合は、7-2で取り付けした施工補助板にのせる。

化粧鏡の横さんを施工補助板にのせる



電源コードを取り出す場合

### 6 電源プラグ

コンセントに接続する。  
※コードを束ねたまま接続しない。

電源コードを取り出す場合

### 2 電源コード

本体横の溝から確実に外に出す。  
※裏面で電源コードがたるまないようにする。  
※鏡と壁の間にコードを挟まないこと。

プラグ差し込み方向によってはコンセントの極性が逆になりますので、電源コードの黒いラインが入っている側をコンセントのアース側(長穴側)に接続してください。

## 直結配線の場合

### 7-3-5 コンセント部の接続と取り付け

### 7 裏面参照

裏面に続く➡

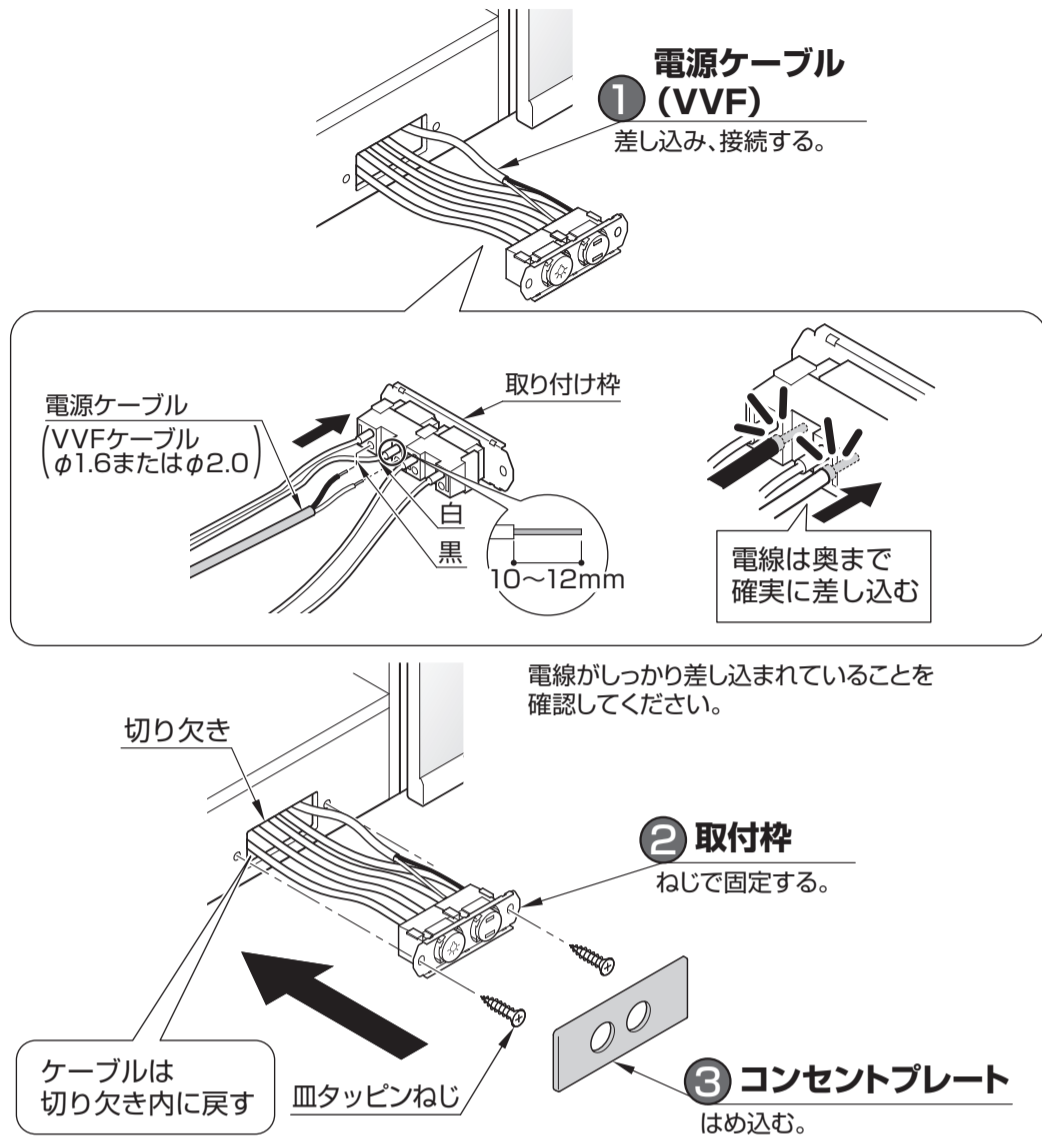
## 7) 三面鏡取り付け手順(つづき)

### 直結配線の場合

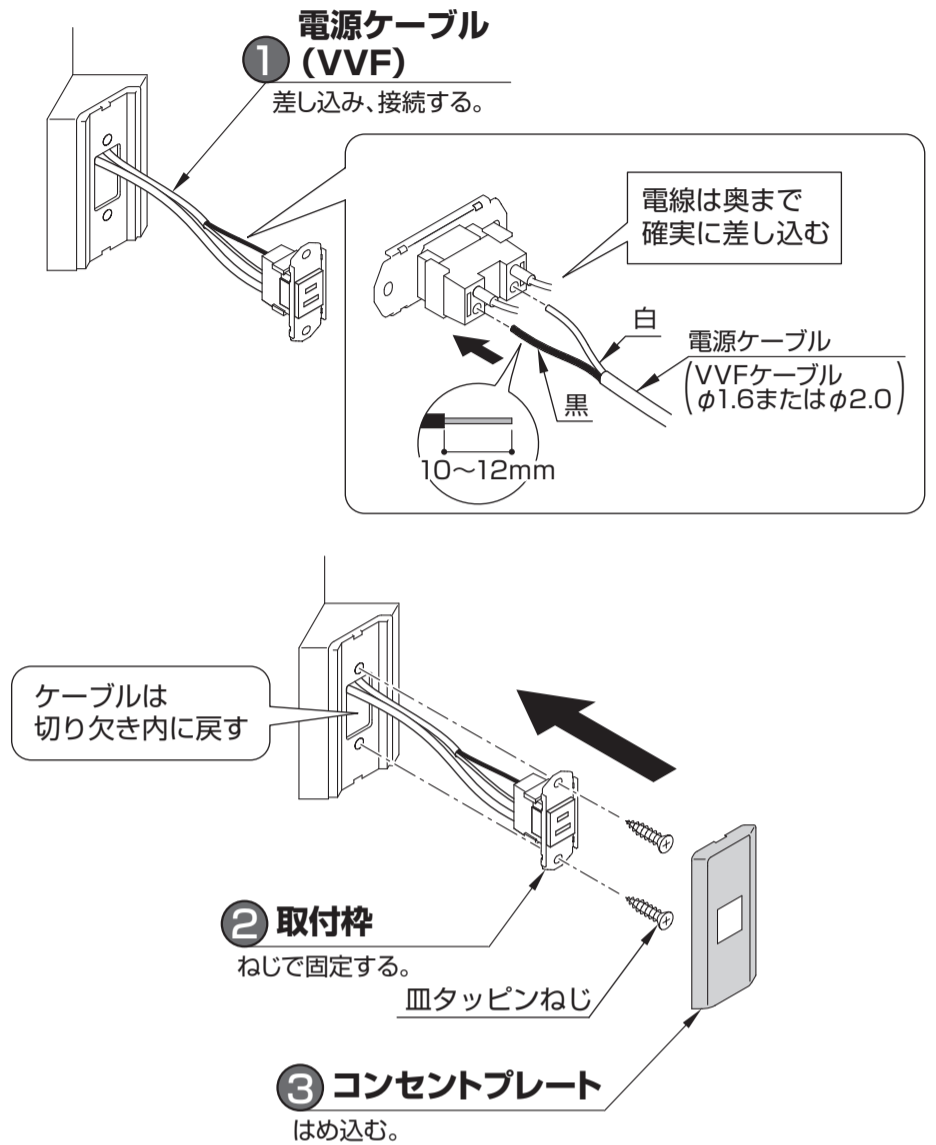
#### 7-3-⑤ コンセント部の接続と取り付け

※必ず「有資格者」が行ってください。

〈LMHA075 ~ 120G3ML型:木製三面鏡(LED照明)〉



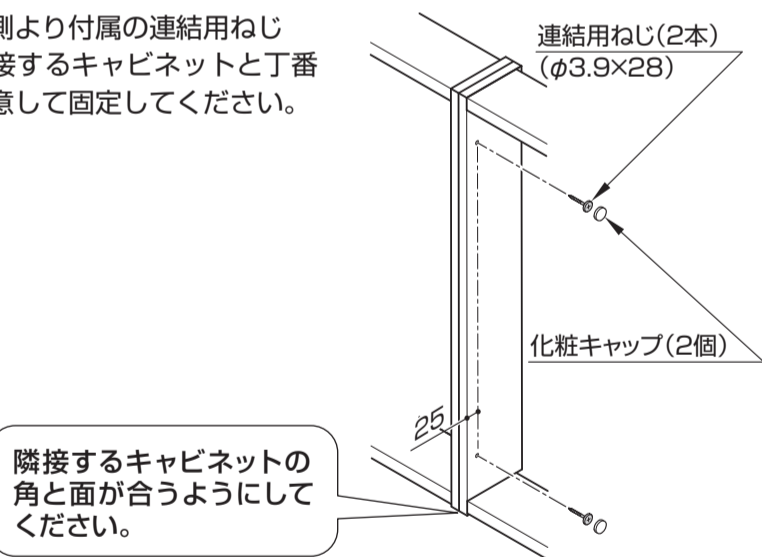
〈LMHA075 ~ 120G3MW型:木製三面鏡(上下LED・調色機能付き)〉



### 横にキャビネットがある場合

#### 7-4 キャビネットの連結

•キャビネットの内側より付属の連結用ねじ(φ3.9×28)で隣接するキャビネットと丁番などとの干渉に注意して固定してください。



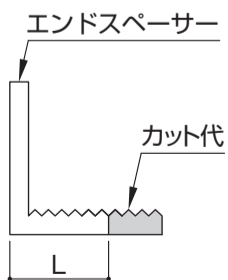
### エンドスペーサーを取り付けるプランの場合

#### 7-5 エンドスペーサーの取り付け

##### ① エンドスペーサーのカット

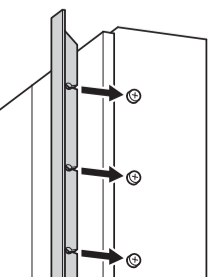
実測したすき間寸法(L)に合わせてエンドスペーサーをカットする。

※無理に折ったりしないでください。  
※対応寸法は5~40mmです。



##### ② エンドスペーサーの取り付け

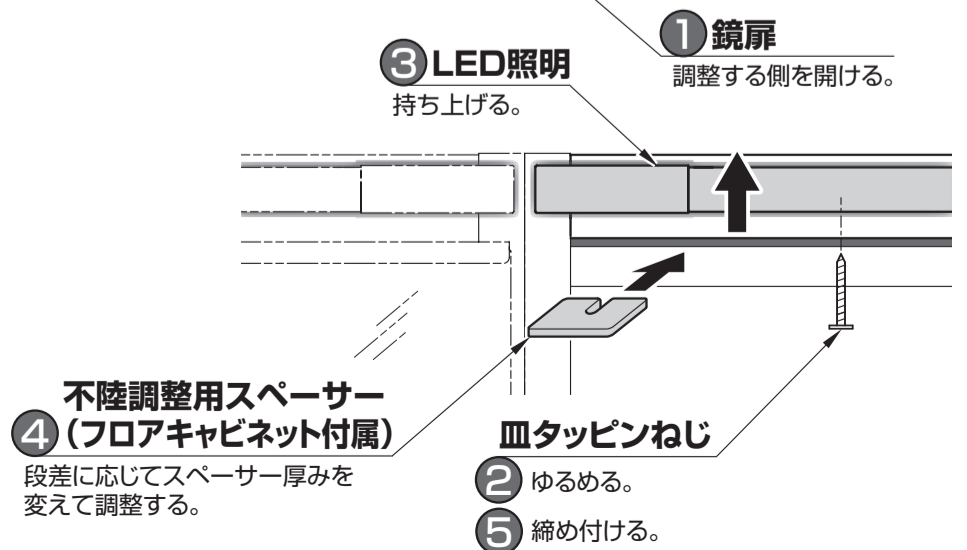
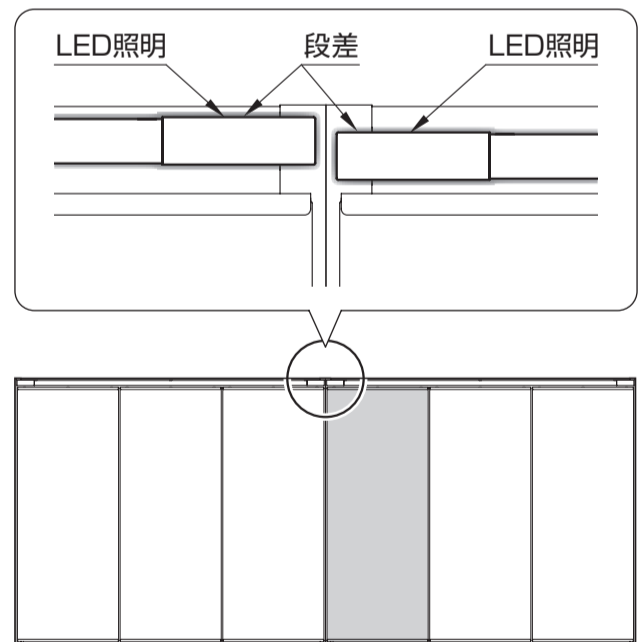
キャビネットに固定した取り付けねじに向かってエンドスペーサーを前方よりパチッとハマるまで押し込む。



### 化粧鏡を並べて設置する場合

#### 7-6 LED照明の左右段差調整方法

•並べて設置した2台の化粧鏡のLED照明部に段差が生じた場合



## 8) サイドキャビネット取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

### 8-1 取り付け前の作業

#### 鏡扉仕様の場合

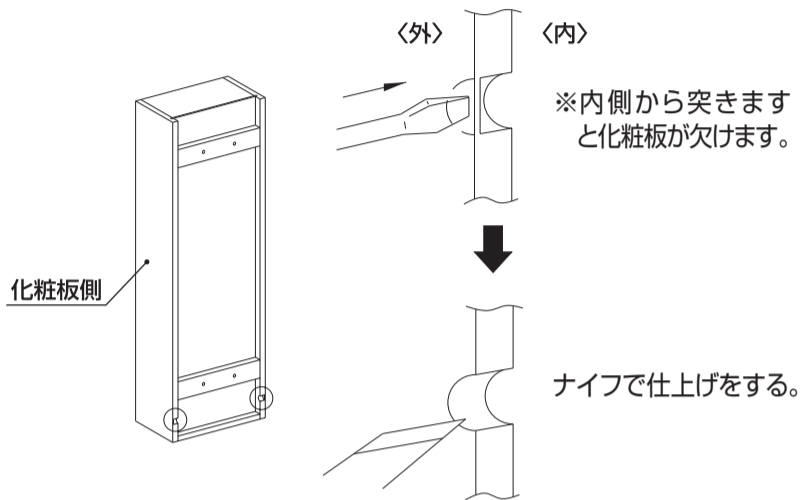
#### 8-1-1 鏡扉の取り外し

7-1-1 参照

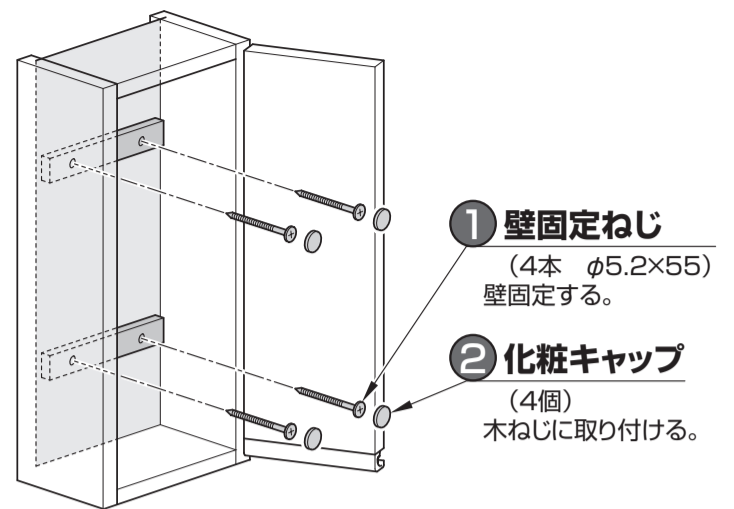
#### キャビネットの裏を電源コードが通る場合

#### 8-1-2 電源コード用切り欠き加工

• キャビネットの裏を電源コードが通る場合は、キャビネットの裏面をマイナスドライバーで化粧板側から突き破ってください。



### 8-2 サイドキャビネットの壁固定



### 横にキャビネットがある場合

#### 8-3 キャビネットの連結

7-4 参照

### エンドスペーサーを取り付けるプランの場合

#### 8-1-3 エンドスペーサー固定ねじの取り付け

7-1-3 参照

### エンドスペーサーを取り付けるプランの場合

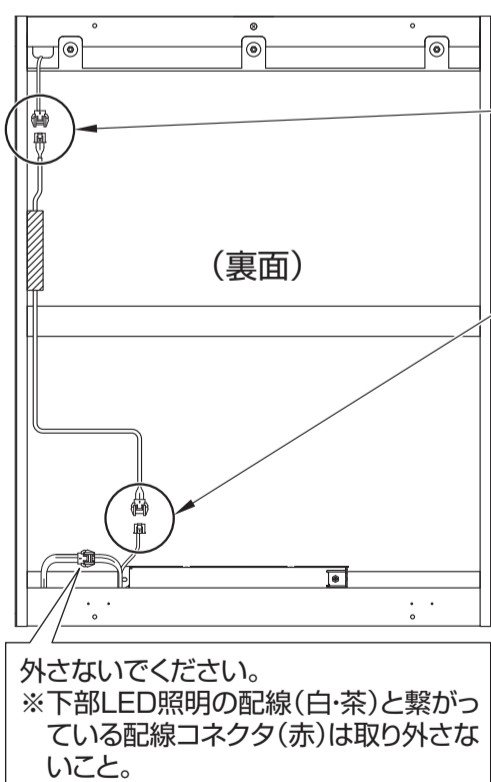
#### 8-4 エンドスペーサーの取り付け

7-5 参照

## 9) 一面鏡取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

※鏡を立てて作業してください。鏡面を下にすると傷つきます。  
※施工補助板が水平に取り付けられていることをご確認ください。

### 1 取り付け前の作業 (LED照明の取り外し)

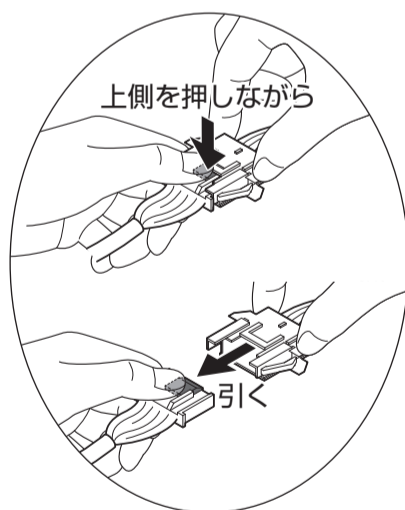


#### 1 配線コネクタ (上部LED照明)

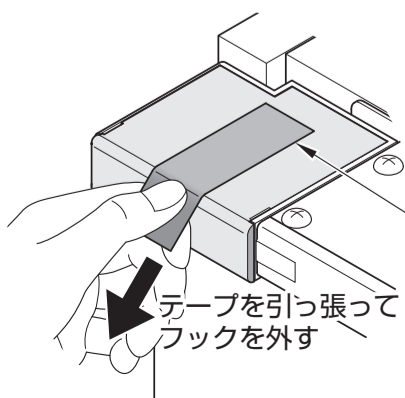
配線(白)と繋がっている5色の配線コネクタを外す。

#### 2 配線コネクタ (下部LED照明)

配線(白)と繋がっている5色の配線コネクタを外す。

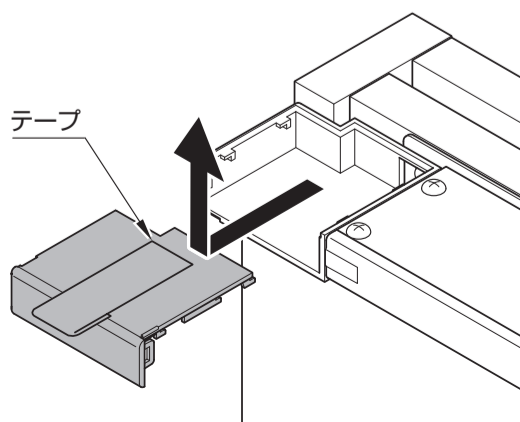


【配線コネクタの外しかた】



#### 3 サイドキャップ (上部左右)

テープを斜め下45度方向に引っ張りサイドキャップを外す  
※取外し後、サイドキャップからテープを取り外す。  
※なくしてしまった場合はテープを貼り付けて取り外す。



#### 4 なべタッピンねじ

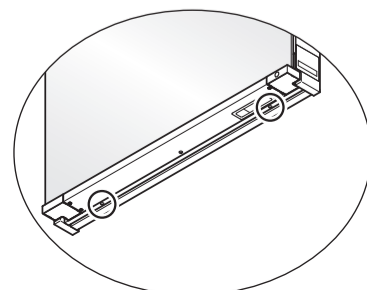
(2本 φ3×12) 取り外す。

#### 5 上部LED照明

手前に引き出す。

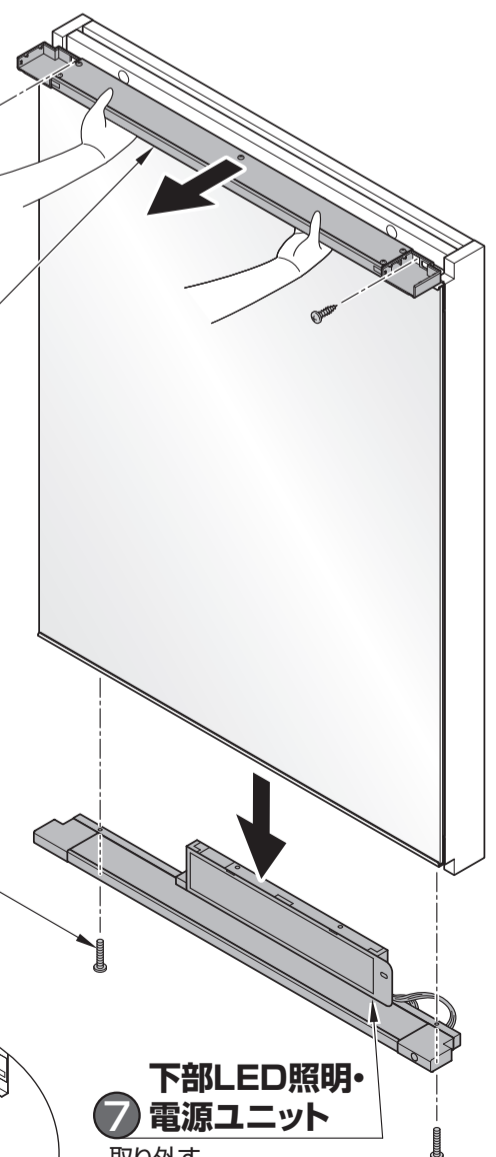
#### 6 バインド小ねじ

(M3×20) 取り外す。  
(W600~750 :2カ所)  
(W900~1200:3カ所)



#### 7 下部LED照明・電源ユニット

取り外す。  
※下部照明と電源ユニットは取り外さない。

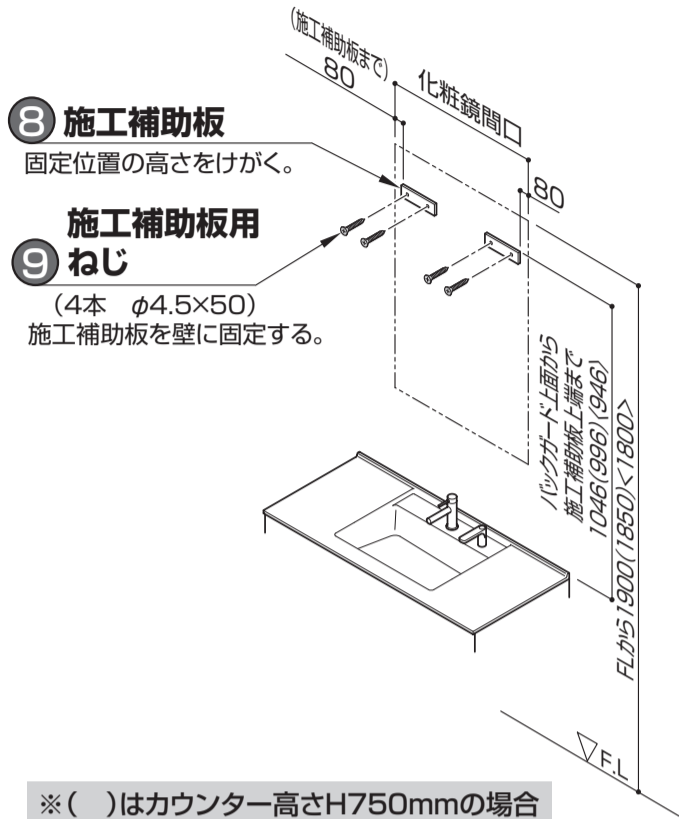


# 9) 一面鏡取り付け手順(つづき)

## 2) 一面鏡用施工補助板の取り付け

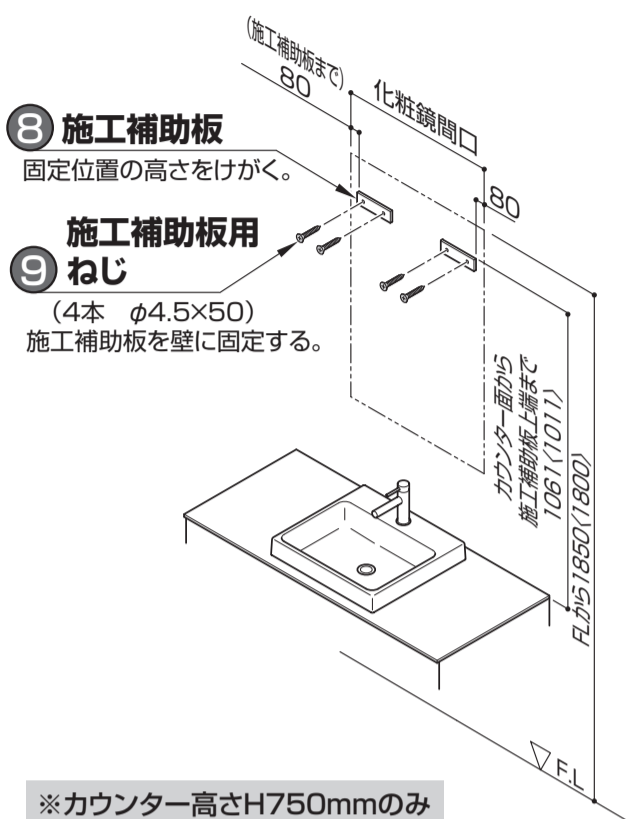
※施工補助板は水平に取り付けられていることをご確認ください。

### 【ボウル一体タイプ】



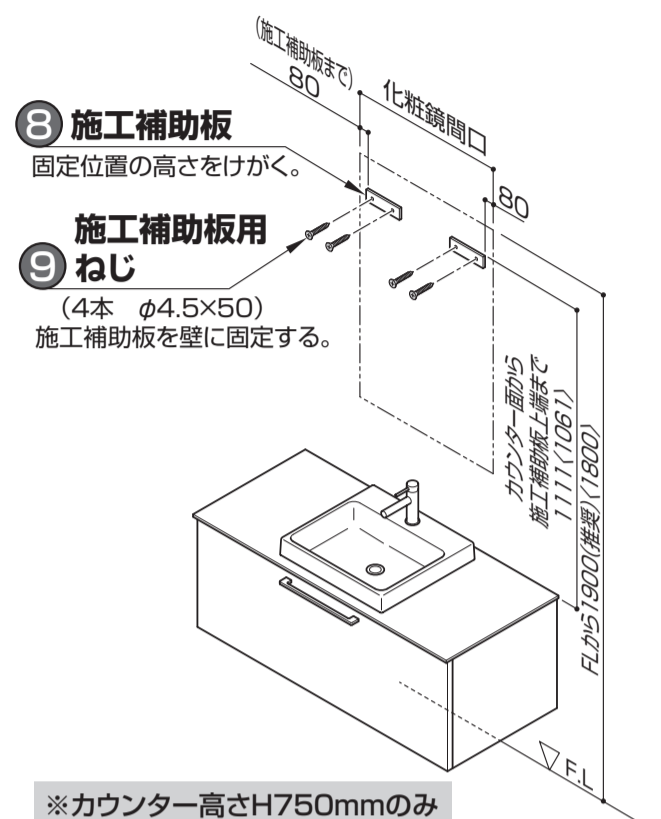
※( )はカウンター高さH750mmの場合  
※〈 〉は高さ1800mmの場合

### 【ベッセルタイプ】※フローティングプラン以外



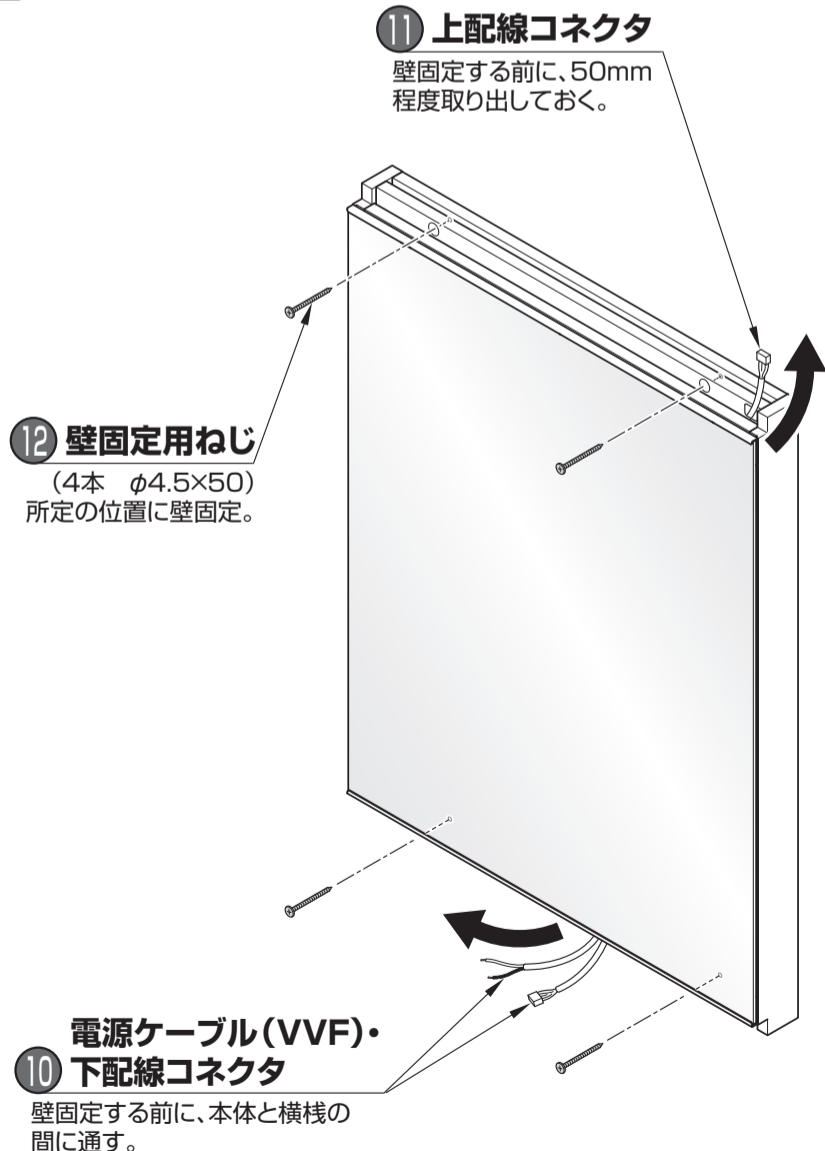
※カウンター高さH750mmのみ  
※〈 〉は高さ1800mmの場合

### 【ベッセルタイプ】※フローティングプラン

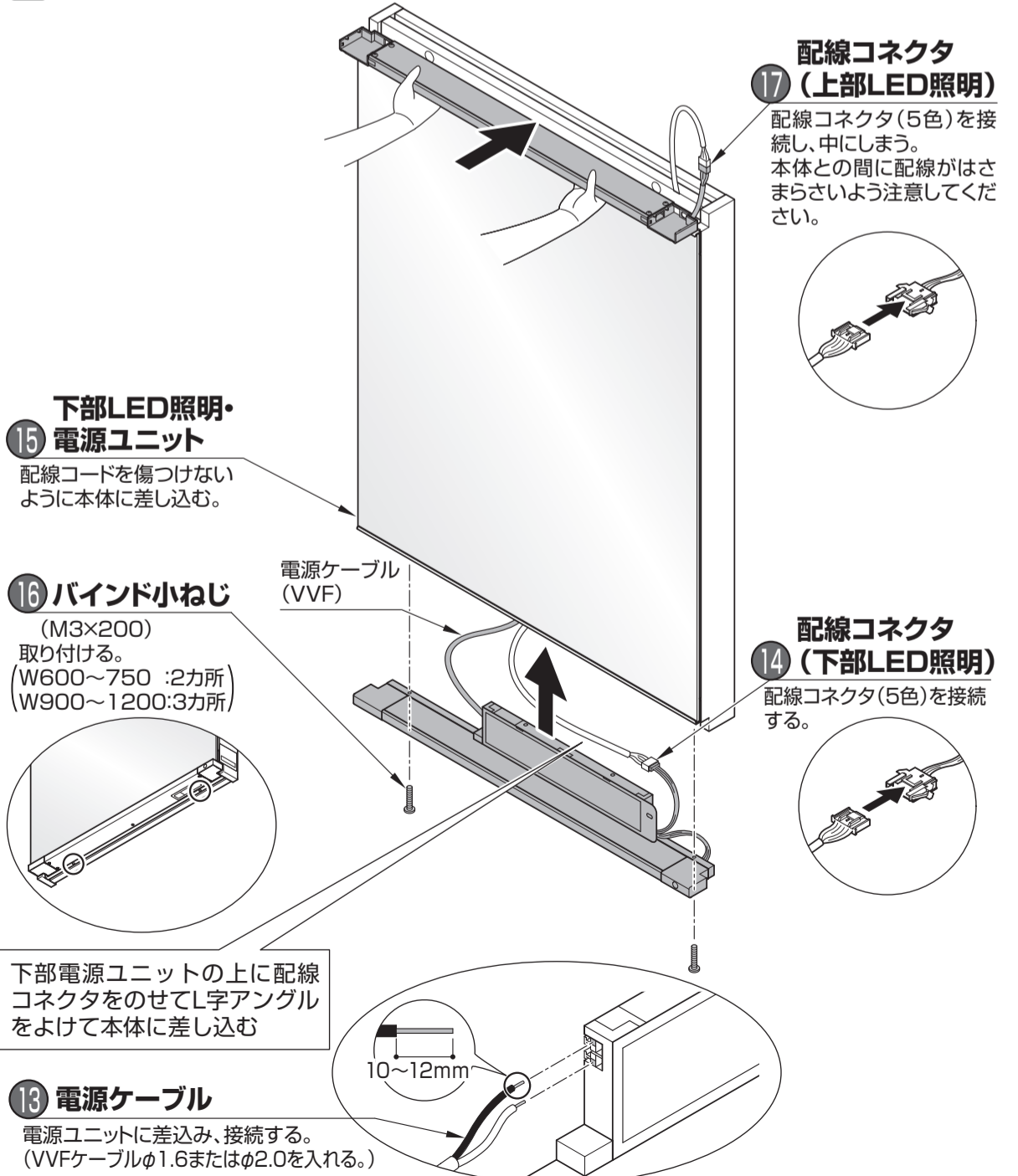


※カウンター高さH750mmのみ  
※〈 〉は高さ1800mmの場合

## 3) 化粧鏡の壁固定

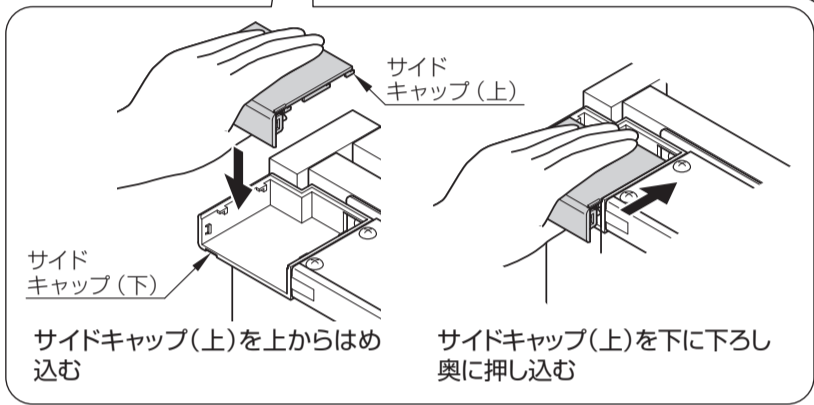


## 4) 配線接続・LED照明の固定



**18 なべタッピンねじ**  
(2本 φ3×12)  
上部LED照明も固定する。

**19 サイドキャップ**  
取り付ける。



## 11) 鏡扉の取り付け・調整

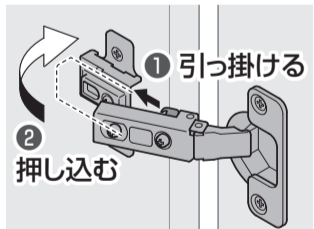
**重要**

鏡扉取り付け後は、鏡扉と鏡扉の左右上下のすき間が均等、鏡扉表面が面一となるように調整する

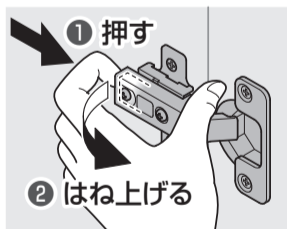
**注意**

**!** 鏡扉と引き出しの調整は電動工具を使わないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う  
必ず実行 破損の原因となり、使用中に落下しけがをするおそれがあります。

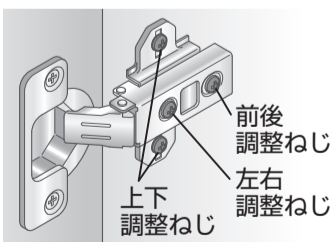
### 鏡扉の取り付け



### 鏡扉の取り外し

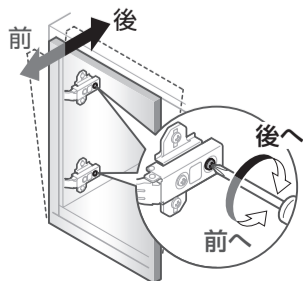


### 鏡扉の調整方法



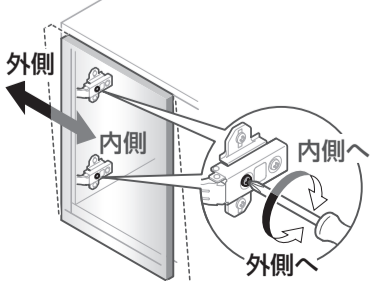
#### 【前後の調整】

左扉も右扉も右回しで後へ、左回しで前へ動きます



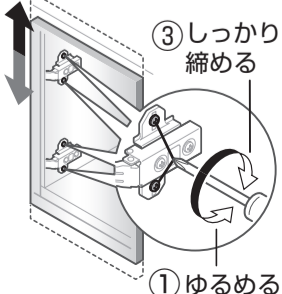
#### 【左右の調整】

左扉も右扉も右回しで内側へ、左回しで外側へ動きます



#### 【上下の調整】

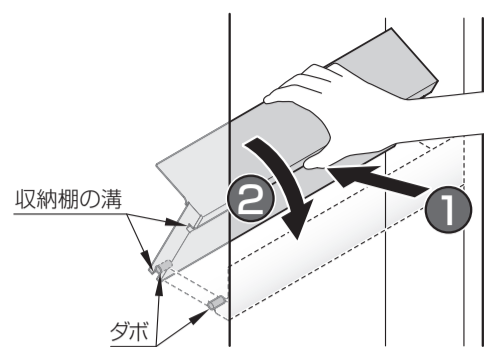
② 鏡扉を動かす



## 10) 棚板の着脱

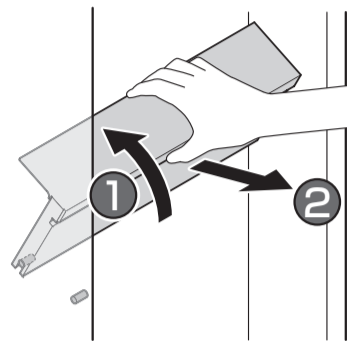
【取り付けかた】

- 1 本体奥の棚受けダボに収納棚奥の溝を差し込んでください。
- 2 本体手前の棚受けダボに収納棚底面の溝を差し込んでください。



【外しかた】

- 1 収納棚の手前を持ち上げてください。
- 2 収納棚を手前に引けば外れます。

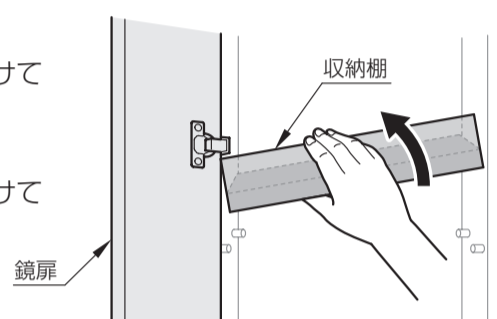


【鏡裏部の収納棚を取り外す場合】

鏡扉に当たらないように、右図のように傾けて手前に引いてください。

【鏡裏部の収納棚を取り付ける場合】

鏡扉に当たらないように、右図のように傾けて本体に取り付けてください。



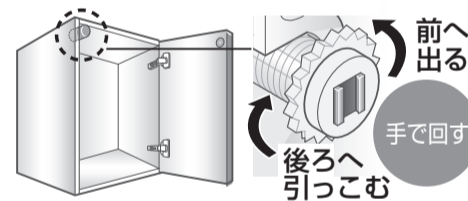
**注意**

**!** 棚受けダボは収納棚の溝に確実に差し込む。  
必ず実行 収納物や棚が落下しけがをするおそれがあります。

## プッシュラッチの調整方法

【前後の調整】

押しても開かない/すぐに開いてしまうときに。



• 扉が開かないときは、左に回す。

## 12) 取り付け完了後の確認と清掃

- ✓ 確認1 商品が壁に確実に固定されていますか？
- ✓ 確認2 照明が点灯しますか？
- ✓ 確認3 棚板が確実にセットされていることを確認してください
- ✓ 確認4 鏡扉の傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。  
鏡扉が確実に閉まりますか？  
調整要領は、「11)鏡扉の取り付け・調整」を参照ください。
- ✓ 確認5 コンセントは通電していますか？  
通電することを確認してください。
- ✓ 清掃 汚れは付いていませんか？  
(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)  
①ぬれた布をかたくしぼってふき取る  
②次に、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げる  
③仕上げに、からぶきをする

**重要**

※ 有機溶剤(シンナー・アセトンなど)の使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- ✓ その他 直射日光にさらされてませんか？  
直射日光にさらされる場合…必ずカーテンなどで遮ってください。